

2020年度通常公募 団体情報シート					
団体名	NPO法人棚田LOVER's		団体web サイトURL	http://tanadalove.com/	
申請事業名				申請受付番号	2034
主題	棚田保全・活用による働き場の場づくり事業		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業	
副題	新型コロナウイルス状況下、中山間地域における働き場の場づくり		申請事業の分類②	①-1 全国ブロック	
			申請事業の分類③	-	
優先すべき社会の諸課題選択科目					
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動		領域②	3)地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	
分野①			分野②		
③	社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援		⑥	地域の働く場づくりの支援	
-	-		⑦	安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	
-	-				
領域③	0		領域④	-	
分野③			分野④		
-	-		-	-	

申請事業概要	
<p>新型コロナウイルスの状況下、棚田の保全・活用による、持続可能な働き場の場づくり、働き手の確保のため①持続可能な組織の担い手づくり、②棚田を活用したツーリズムや研修による安定した資金の確保、③耕作放棄地の棚田復元、④多種多様な多くの人及び企業を呼び込み、関係性を持つための棚田を活用したイベントの開催やSNSによる情報発信等広報の4つの課題解決が必要であり、本事業により取り組む。事業終了後は、事業実施団体から取り組みを積極的に発信したり、アドバイザーを派遣するなど全国の棚田保全・活用による、持続可能な働き場の場づくり、働き手の確保に貢献する。本事業では、棚田を農業生産の場より体験ツアー等ビジネス商品としての活用に重きを置く。行政やJTB等旅行会社も棚田等農村体験型旅行のグリーンツーリズムや農泊事業を商品化し積極的に推進。</p>	

団体組織情報		
1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	2007/5/3
	法人格取得年月日	2010/3/30
2	●団体概要	
	団体概要	社会的課題の解決を担う若者とともに、自然体験等の事業を行っています。「交流」事業：子ども食堂、居場所づくり事業、棚田ラバーズフェス、貸農園運営、婚活企画、「人材育成」事業：米を育てる人を育成する棚田エコ学園事業「棚田を生かす」事業：農作業・自然体験、棚田でお米を育てる体験 毎日新聞地球未来賞クボタ賞受賞 読売新聞あおによし賞奨励賞など12の受賞賞 140団体と連携し、メディア掲載回数165回
3	●代表者情報	
	代表者名	永菅 永菅
	代表者の役職	理事長
	代表者名 2	-
4	●役員	
	役員の数	16人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の人数	1人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	2人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	8人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	1人
	常勤・有給・無期	1人
	常勤・無給(有期・無期)	1人
	非常勤・有給・有期	1人
	非常勤・有給・無期	2人
非常勤・無給(有期・無期)	2人	
	事務局体制の備考	特になし
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	問題なし
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	問題なし
	2.業務別に区分経理ができる体制である	問題なし
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	①監事を実施

助成実績		
1	前年度の助成件数 (件)	2団体
2	前年度の助成総額 (円)	30万 (確認)
助成事業の実績内容		

過去に4団体に資金を分配している実績がある。資金を分配だけでなく、中間支援団体として①地域活性化、②環境保全、③福祉、④棚田保全など、社会的課題解決に取り組む地域活動を応援している。【具体的な内容】①活動の取り組み方法に関する相談及びアドバイザーの派遣 ②活動資金確保のための補助金・助成金申請手続き、③研修、セミナー、シンポジウム等の講演者の派遣 ④アイデアや労働力を応援する大学生の派遣 ⑤「棚田保全応援室」、「農福連携応援室」による相談、アドバイザーの派遣、⑥男女共同参画の推進 報告なども随時HPに掲載し、情報公開している。

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり